

“成犬を飼う”という選択について

愛媛県動物愛護センター

ここ愛媛県動物愛護センターは、松山市内とはいえ標高350mの山間部にあるため、寒さ厳しい今日この頃は雪景色となることもしばしばですが、センターの裏山には今年も昨日から高縄山に生息する日本猿の群れが現れ始め、春の気配も感じられるところです。

さて、唐突ですが皆さんが「犬を飼う」と決めた場合、「どんな犬を飼うか！」は重要な問題でありさまざまな選択肢があるはずですが、「犬を飼う場合は子犬から飼わなければならない。」とかたくなに思い込んでいる方も少なからずいらっしゃいます。理由を尋ねると「なつかないでしょう！」という答えが返ってくる人が多いように思います。

実際、飼ってみるとどうなのか。「なつかない」「しつけができない」は誤解もしくは思い込みだということに気付くことでしょうか。私たちが考える“成犬から飼いはじめるメリット”は、「大きさがわかっている。」「犬の性格が決定している」「子犬ほど手がかからない」など、いそがしい方には特にメリットが大きいと思います。また、年配の方で、「自分たちの体力が心配であり長い期間は飼う自信がない。」と言われる方にもある程度の年齢の成犬はメリットとなると考えています。一方、「子犬から飼いたい」と思う気持ちもよくわかります。子犬のコロコロしたかわいらしい時期は一瞬ですが家族にとっては大切な思い出となり一緒に過ごしたいと思われるのはもつともです。また、成犬の場合、今までに身に付けてしまった大小の「悪癖」を持っていることが多々あることも事実です。

「どちらが良い」と言うことではなく、「犬を飼う」と決めた場合には、「どんな種類の犬を飼うか」「室内で飼うか、屋外で飼うか」「子犬か成犬か」など、犬についてよく考え、学んでから一緒に生活を始めていただくことが大事かと考えています。その際に、「成犬を飼う」ということを選択肢のひとつとしていただければいいのではないかと思います。

